

好学尚武

市立浦和高等学校野球部通信

発行者 鈴木 諭

発行日 R 7 . 5 . 1 2

発行ナンバー 1 1 7 9 号

試合結果

5月10日（土）対県立浦和高校

第1試合 雨のため中止

第2試合 雨のため中止

5月11日（月）対都留高校

3年生が模試だったため、1・2年生で遠征してきました。

今季通算成績 15勝 7敗 1分

浦和

「浦和」の盛り上がりに加わるぞ！

そんな感じでしょうか・・・

この代の埼玉県、秋は浦和実業学園高校（以下浦実）が優勝、春は浦和学院高校（以下浦学）が優勝という形になりました（秋、春共に浦和勢が優勝）。また、春の選抜大会で浦実が全国ベスト4の成績を残したこともあり、埼玉県全体が注目されている状況であるといえます。

それにしても・・・この春、浦学が見せたバッティングは私達県内他校からすると衝撃的なものでした。地区大会と県大会、県内すべてのチーム合計で14本？15本？のホームラン、そのうち浦学の選手だけで9本打っているという報告がありました。

夏の大会で、彼らを抑える手立てがないかを考えながら試合を観ていましたが、とにかく重量打線、投手が入る8番と9番に入るショート石田君以外の1～7番打者は全員スタンドに放り込むバッティングをします。打球の速さ、高さ、飛距離・・・1校だけ低反発ではないバットを使用しているような感じの打球でした。

大事なはそのような打球に対応してしっかり守ること（ホームランは仕方ありませんが・・・）逆に先取点をとってその本来のバッティングが来ないようにする・・・そんな感じだと思います。

浦学、浦実、そして今春は県大会に出場していませんが浦和麗明高校も力があります（この3校は浦和の私立校）そこに公立高校も加わって（大会全体を盛り上げ）浦和がサッカーだけの街ではないことをアピールしたいと思います。

野球応援



最近の市高は男子校と比較されることが多いので・・・市高の野球応援は一言でいえば「華やか」、スタンドにいる野球部員以外は、バトン部や吹奏楽部の女子生徒達を中心となつての応援となります。また、主に試合をすることになる市営浦和球場が学校隣（徒歩0分）にあるため、上記写真のように満員状態でプレーする形になります。

私は異性に応援される方がやる気が出ましたし（笑）、市高の大応援団を誇りに思っています。

これから高校進学する中学生の皆さん、こんな所も進路選択材料の1つにしてみてもはどうでしょうか？・・・お待ちしております。